

履修モデル（国際コミュニケーション学部 国際教養学科）

【履修モデルとは…】

学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。  
 学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。  
 学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	国際コミュニケーション学部・国際教養学科	対象入学年度	2018年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学部国際教養学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を経ることにより総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、個別論文指導と厳格な審査を行うことで、英語をはじめとする諸外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象とした、文化や社会に関する深い知識の習得を確認します。		
カリキュラム・ポリシー	国際コミュニケーション学部国際教養学科では、異文化理解を通して国際的なコミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら国際的な場で活躍できる人材の養成を目的としています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 共通教育科目には、幅広く深い教養と総合的な判断力、そして豊かな人間性と倫理を涵養するよう科目を置いていきます。また、多文化状況を生き抜く基本的ツールとしての外国語科目を配置し、学生は第1外国語(英語指定)および第2外国語を履修します。 (2) 専門教育科目には、文化をめぐる個別の現象について国際比較を行うための方法論と論理を学ぶための「基幹科目」、専門について理解を深める「展開科目」、より深く専門に関連するテーマの研究を展開するための「演習科目」を配置しています。英語およびそれ以外の外国語の運用能力を身につけ、関心を有する地域の生活レベルから思想・芸術に及ぶ文化、さらには政治・経済状況に至る総合的で深い世界理解へと導くよう教授し、卒業後それらを応用的に展開していくための能力を付与し、国際人として自己を形成していく基礎を育成します。		

履修モデル	コース	アメリカ研究コース
養成する人材像	アメリカ地域への理解を深め、異文化理解に基づく国際コミュニケーション能力を生かし、国際的な場で活躍できる人物	

		1年次		2年次				3年次				4年次				合計単位			
		第1 semester	単位	第2 semester	単位	第3 semester	単位	第4 semester	単位	第5 semester	単位	第6 semester	単位	第7 semester	単位		第8 semester	単位	
共通教育科目	外国語分野	Practical English	1	TOEIC I	1	Reading III	1	Reading IV	1									8	
		Reading I	1	Reading II	1	Communicative English I	1	Communicative English II	1										
		〇〇語入門 I	1	〇〇語入門 II	1														4
		〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1														
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報リテラシー入門	1	情報リテラシー応用	1	民族と文化	2	民族と国家	2	総合科目	2	現代の思想	2					22	
科学と社会	2	国際関係論	2	異文化コミュニケーション	2	社会と宗教	2												
				現代社会論	2														
				環境の科学	2														
	体育分野	スポーツ・健康演習	2														2		
専門教育科目	基幹科目	文化記号論入門	2	現代日本事情	2	歴史リテラシー入門	2	現代アジア事情	2									22	
		言語文化論	2	Current American Issues	2	比較文化論入門	2												
		多文化コミュニケーション	2	現代ヨーロッパ事情	2														
		世界政治事情	2																
		フィールドワーク入門	2																
	演習科目	入門ゼミ	2	Preseminar I	2	Preseminar II	2	Seminar I	2	演習 I	2	演習 II	2	演習 III	2	演習 IV	2	26	
									Seminar II	2	国際フィールドワーク II	2				卒業研究	4		
									国際フィールドワーク I	2									
	展開科目					アメリカ文化論	2	American Subcultures	2	国際観光学概論	2	世界遺産論	2						40
						Introduction to Cultural Studies	2	アメリカ生活文化論	2	Topics in Media Studies	2	国際政治経済学	2						
					Rituals and Ceremonies	2	アメリカ民俗論	2	Popular Culture	2	Media Message Analysis	2							
					Introduction to Media Studies	2	History of American Culture	2	Social Cultural Issues in Films	2	Culture through the Arts	2							
							Multiculturalism Studies	2	American Culture	2	American Society and Politics	2							
合計		21		19		20		20		18		18		2		6	124		

- 卒業要件(卒業必要単位:124単位)  
 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計34単位以上を修得しなければならない。  
 (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語4単位、計2外国語12単位  
 (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位  
 (3) 体育分野 2単位  
 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計68単位以上を修得しなければならない。  
 (1) 基幹科目 12単位  
 (2) 演習科目 20単位  
 (3) 展開科目 36単位  
 3 上記のほかに、共通教育科目及び専門教育科目の中から22単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（国際コミュニケーション学部 国際教養学科）

【履修モデルとは…】

学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	国際コミュニケーション学部・国際教養学科	対象入学年度	2018年度以降入学生(留学生)
ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学部国際教養学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を経ることにより総計124 単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、個別論文指導と厳格な審査を行うことで、英語をはじめとする語外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象とした、文化や社会に関する深い知識の習得を確認します。		
カリキュラム・ポリシー	国際コミュニケーション学部国際教養学科では、異文化理解を通して国際的なコミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら国際的な場で活躍できる人材の養成を目的としています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 共通教育科目には、幅広く深い教養と総合的な判断力、そして豊かな人間性と倫理を涵養するよう科目を置いています。また、多文化状況を生き抜く基本的ツールとしての外国語科目を配置し、学生は第1外国語(英語指定)および第2外国語を履修します。 (2) 専門教育科目には、文化をめぐる個別の現象について国際比較を行うための方法論と論理を学ぶための「基幹科目」、専門について理解を深める「展開科目」、より深く専門に関連するテーマの研究を展開するための「演習科目」を配置しています。英語およびそれ以外の外国語の運用能力を身につけ、関心を有する地域の生活レベルから思想・芸術に及ぶ文化、さらには政治・経済状況に至る総合的に深い世界理解へと導くよう教授し、卒業後それらを応用的に展開していくための能力を付与し、国際人として自己を形成していく基礎を育成します。		

履修モデル	コース	アメリカ研究コース(留学生)
養成する人材像	アメリカ地域への理解を深め、異文化理解に基づく国際コミュニケーション能力を生かし、国際的な場で活躍できる人物	

		1年次		2年次		3年次		4年次		合計単位									
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位		第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位	第8セメスター	単位	
共通教育科目	外国語分野	Practical English	1	TOEIC I	1	Reading III	1	Reading IV	1									8	
		Reading I	1	Reading II	1	Communicative English I	1	Communicative English II	1										
		日本語 I	1	日本語III	1	日本語 V	1	日本語VII	1									8	
		日本語 II	1	日本語IV	1	日本語VI	1	日本語VIII	1										
共通教育科目	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報リテラシー入門	1	情報リテラシー応用	1	民族と文化	2	民族と国家	2	総合科目	2								
		科学と社会	2	国際関係論	2	異文化コミュニケーション	2	社会と宗教	2									20	
				現代社会論	2														
				環境の科学	2														
共通教育科目	体育分野	スポーツ・健康演習	2															2	
専門教育科目	基幹科目	文化記号論入門	2	現代日本事情	2	歴史リテラシー入門	2	現代アジア事情	2										
		言語文化論	2	Current American Issues	2	比較文化論入門	2												
		多文化コミュニケーション	2	現代ヨーロッパ事情	2														
		世界政治事情	2																
		フィールドワーク入門	2																
専門教育科目	演習科目	入門ゼミ	2	Preseminar I	2	Preseminar II	2	Seminar I	2	演習 I	2	演習 II	2	演習 III	2	演習 IV	2		
										Seminar II	2	国際フィールドワーク II	2				卒業研究	4	26
専門教育科目	展開科目					アメリカ文化論	2	American Subcultures	2	国際観光学概論	2	世界遺産論	2						
						Introduction to Cultural Studies	2	アメリカ生活文化論	2	Topics in Media Studies	2	国際政治経済学	2						
						Rituals and Ceremonies	2	アメリカ民俗論	2	Popular Culture	2	Media Message Analysis	2						
						Introduction to Media Studies	2	History of American Culture	2	Social Cultural Issues in Films	2	American Society and Politics	2						
								Multiculturalism Studies	2	American Culture	2	イスラーム世界論	2						
合計		21		19		22		22		18		14		2			6	124	

- 卒業要件(卒業必要単位:124単位)
- 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計38単位以上を修得しなければならない。  
(1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語8単位、計2か国語16単位  
(2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位  
(3) 体育分野 2単位
  - 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計68単位以上を修得しなければならない。  
(1) 基幹科目 12単位  
(2) 演習科目 20単位  
(3) 展開科目 36単位
  - 3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から18単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（国際コミュニケーション学部 国際教養学科）

【履修モデルとは…】

学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。  
 学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。  
 学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	国際コミュニケーション学部・国際教養学科	対象入学年度	2018年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学部国際教養学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を経ることにより総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、個別論文指導と厳格な審査を行うことで、英語をはじめとする語外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象とした、文化や社会に関する深い知識の習得を確認します。		
カリキュラム・ポリシー	国際コミュニケーション学部国際教養学科では、異文化理解を通して国際的なコミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら国際的な場で活躍できる人材の養成を目的としています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 共通教育科目には、幅広く深い教養と総合的な判断力、そして豊かな人間性と倫理を涵養するよう科目を置いています。また、多文化状況を生き抜く基本的ツールとしての外国語科目を配置し、学生は第1外国語(英語指定)および第2外国語を履修します。 (2) 専門教育科目には、文化をめぐる個別の現象について国際比較を行うための方法論と論理を学ぶための「基幹科目」、専門について理解を深める「展開科目」、より深く専門に関連するテーマの研究を展開するための「演習科目」を配置しています。英語およびそれ以外の外国語の運用能力を身につけ、関心を有する地域の生活レベルから思想・芸術に及ぶ文化、さらには政治・経済状況に至る総合的で深い世界理解へと導くよう教授し、卒業後それらを応用的に展開していくための能力を付与し、国際人として自己を形成していく基礎を育成します。		

履修モデル	コース	ヨーロッパ研究コース
養成する人材像	EU地域への基本的な理解は世界を理解する上で欠かせない。広い教養にたつて様々な地域、特にEU地域との交流に貢献できる人物	

		1年次		2年次				3年次				4年次				合計単位		
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位	第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位		第8セメスター	単位
共通教育科目	外国語分野	Practical English	1	TOEIC I	1	Reading III	1	Reading IV	1									8
		Reading I	1	Reading II	1	Communicative English I	1	Communicative English II	1									
	〇〇語入門 I	1	〇〇語入門 II	1														4
	〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1														
数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報リテラシー入門	1	情報リテラシー応用	1	言語と人間	2	国際関係論	2	総合科目	2	現代の思想	2						20
	数理学入門	2	環境の科学	2														
			科学と社会	2														
			社会と宗教	2														
専門教育科目	演習科目	スポーツ・健康演習	2															2
		文化記号論入門	2	現代日本事情	2	多文化コミュニケーション	2	比較宗教論入門	2									
	日本語論	2	現代アジア事情	2	比較文化論入門	2	日本の伝統芸能	2										
	歴史リテラシー入門	2	現代ヨーロッパ事情	2	比較文学論入門	2												
展開科目	世界政治事情	2																
	フィールドワーク入門	2																
	入門ゼミ	2	Preseminar I	2	Preseminar II	2	Seminar I	2	演習 I	2	演習 II	2	演習 III	2	演習 IV	2		26
									Seminar II	2	国際フィールドワーク II	2			卒業研究	4		
									国際フィールドワーク I	2								
展開科目					ヨーロッパ文化論	2	ヨーロッパ文学論	2	ヨーロッパ文化史	2	ヨーロッパ宗教社会論	2						
					観光文化論	2	世界遺産論	2	ヨーロッパ生活文化論	2	国際観光地理	2						
					ヨーロッパサブカルチャー論	2	グローバルスタディーズ概論	2	ヨーロッパ民俗論	2	Traditional Japan	2						
							Introduction to Cultural Studies	2	ヨーロッパ経済論	2	ヨーロッパ政治社会論	2						
							Multiculturalism Studies	2	グローバルポリティクス I	2	グローバルポリティクス II	2						
											国際開発論	2						
合計		21		21		18		20		18		18		2		6	124	

卒業要件(卒業必要単位:124単位)  
 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計34単位以上を修得しなければならない。  
 (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語4単位、計2外国語12単位  
 (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位  
 (3) 体育分野 2単位  
 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計68単位以上を修得しなければならない。  
 (1) 基幹科目 12単位  
 (2) 演習科目 20単位  
 (3) 展開科目 36単位  
 3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から22単位以上を修得しなければならない。

履修モデル (国際コミュニケーション学部 国際教養学科)

【履修モデルとは…】

学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。  
 学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ(学年)、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。  
 学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	国際コミュニケーション学部・国際教養学科	対象入学年度	2018年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学部国際教養学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を経ることにより総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、厳格な論文審査と口頭試問による審査判定を行うことで、英語をはじめとする諸外国語の学習とともに、欧米、アジア、日本を対象とした、文化や社会に関する基礎的な知識の習得を確認します。		
カリキュラム・ポリシー	国際コミュニケーション学部国際教養学科では、異文化理解を通して国際的なコミュニケーション能力を習得し、自国文化についての知見をもちながら国際的な場で活躍できる人材の養成を目的としています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 共通教育科目には、幅広く深い教養と総合的な判断力、そして豊かな人間性と倫理を涵養するよう科目を置いていきます。また、多文化状況を生き抜く基本的ツールとしての外国語科目を配置し、学生は第1外国語(英語指定)および第2外国語を履修します。 (2) 専門教育科目には、文化をめぐる個別の現象について国際比較を行うための方法論と論理を学ぶための「基幹科目」、専門について理解を深める「展開科目」、より深く専門に関連するテーマの研究を展開するための「演習科目」を配置しています。これにより、英語およびそれ以外の外国語の運用能力を基礎として、さらに学生が関心を有する地域の生活レベルから思想・芸術に及ぶ文化、さらには政治・経済状況にまで及ぶ総合的で深い世界理解へと導くよう教授し、卒業後それらを応用的に展開していくための能力を付与し、国際人として自己を形成していく基礎を育成します。		

履修モデル	コース	日本・アジア研究コース
養成する人材像	日本およびアジアへの理解を基底とし、さらに欧米への知見をも合わせ備えた国際的な視野を持った人物	

		1年次		2年次		3年次		4年次		合計単位									
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位		第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位	第8セメスター	単位	
共通教育科目	外国語分野	Practical English	1	TOEIC I	1	Reading III	1	Reading IV	1									8	
		Reading I	1	Reading II	1	Communicative English I	1	Communicative English II	1										
		〇〇語入門 I	1	〇〇語入門 II	1														4
		〇〇語基礎 I	1	〇〇語基礎 II	1														
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報リテラシー・入門	1	情報リテラシー・応用	1	言語と人間	2	国際関係論	2	総合科目	2	現代の思想	2					22	
数理学入門	2	環境の科学	2			科学と社会	2												
		現代社会論	2																
		社会と宗教	2																
体育分野	スポーツ・健康演習	2															2		
専門教育科目	基幹科目	文化記号論入門	2	現代日本事情	2	多文化コミュニケーション	2	比較宗教論入門	2								26		
		日本語論	2	現代アジア事情	2	比較文化論入門	2	日本の伝統芸能	2										
		歴史リテラシー入門	2	現代ヨーロッパ事情	2	比較文学論入門	2												
		世界政治事情	2																
		フィールドワーク入門	2																
	演習科目	入門ゼミ	2	Preseminar I	2	Preseminar II	2	Seminar I	2	演習 I	2	演習 II	2	演習 III	2	演習 IV	2	26	
										Seminar II	2	国際フィールドワーク II	2			卒業研究	4		
	展開科目					日本・アジア文化史	2	日本・アジア文化論(中国)	2	グローバルポリテイクス I	2	Traditional Japan	2					36	
						日本・アジア思想文化論	2	日本・アジア文化論(韓国)	2	グローバルポリテイクス II	2	日本・アジア言語文化論	2						
						日本・アジアサブカルチャー論	2	日本・アジア生活文化論	2	グローバル産業社会論	2	東アジア観光文化論	2						
					Introduction to Cultural Studies	2	グローバルスタディーズ概論	2	観光文化論	2	現代フォークロア論	2							
									世界遺産論	2	Social Cultural Issues in Films	2							
合計		21		21		20		20		18		16		2		6	124		

- 卒業要件(卒業必要単位:124単位)
- 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計34単位以上を修得しなければならない。  
 (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語5単位、第2外国語4単位、計2か国語12単位  
 (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位  
 (3) 体育分野 2単位
  - 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計68単位以上を修得しなければならない。  
 (1) 基幹科目 12単位  
 (2) 演習科目 20単位  
 (3) 展開科目 36単位
  - 上記のほかに、共通教育科目及び専門教育科目の中から22単位以上を修得しなければならない。